

日本ジオパークネットワーク
第2回JGN全国研修会

in磐梯山ジオパーク

報告書

『ジオパークにおける解説版とは』



平成25年2月14日(木)・15日(金)

会場：国立磐梯青少年交流の家

主催：日本ジオパークネットワーク

会場担当：磐梯山ジオパーク協議会

スケジュール

日程	内 容 (参加人数)	会 場
2月13日(水) 20:30～ 21:30	【プレ情報交換会】(参加:54人) 研修会前日の各 GP 地域の情報交換と意見交流を行う。	国立磐梯青少年交流の家 第5研修室
2月14日(木) 9:00～ 17:00	JGN 全国研修会 (研修生 57名 アドバイザー 2名 事務局 3名 スタッフ 4名) ・世界各地のジオパーク解説版について JGN 事務局 杉本 伸一氏 ・サイン「解説版」における 地図デザインについて北海道地図 小林 毅一氏 ・「日本各地のジオパーク解説版」研修・意見、感想 (昼食:磐青食堂でバイキング昼食) ・ワークショップ ☆ 解説版作成の実践 ☆ ・「磐梯山ジオパークの特徴」福島県立博物館 竹谷 陽二郎氏 ・「磐梯山ジオパーク;バーチャルジオツアー(見祢の大石)」 磐梯山噴火記念館副館長 佐藤 公氏 ・グループディスカッション 「見祢の大石」の解説版作成の検討、PP へまとめ ・JGN 意見交換	国立磐梯青少年交流の家 第5研修室 総合研修館
2月14日(木) 19:00～ 21:00	ジオ端会議(参加:66名) (夕食をとりながらのジオパーク談義) ・幻想的な明かりのお出迎え～いなわしろの民話 ・会津のお酒を飲み比べて～小原庄助さん気分	国立磐梯青少年交流の家 食堂
2月15日(金) 8:00～ 12:00	雪中ジオツアー(参加:47名) コース①五色沼+裏磐梯ビジターセンター (1888年の噴火と神秘の五色沼:裏磐梯エリア) コース②中瀬沼・レンゲ沼(桧原湖)+磐梯山噴火記念館 (1888年の噴火と流れ山地形:裏磐梯エリア) コース③しぶき氷+野口英世記念館 (猪苗代湖の神秘:猪苗代エリア) コース④湖畔の森+天鏡閣 (伝説の島と翁島岩なだれ:猪苗代エリア)	①②コース 磐梯青少年 交流の家⇔裏磐梯 ③④コース 磐梯青少年 交流の家⇔猪苗代
2月16日(土) 8:00～ 21:00	【オプションツアー】(参加:16名+スタッフ2名) 磐梯山噴火記念館副館長 佐藤 公と行く 冬季週末限定プレミアムジオツアー 磐梯山の氷結銅沼と崩壊壁直下幻のイエローフォール(氷瀑)を めざして	裏磐梯スキー場～ リフト利用～銅沼～ イエローフォール(未着)～ リフト利用～裏磐梯スキー場

JGN 全国研修会 グループ一覧

	グループ名	参加者氏名	所 属
1	A	林 田 真 明	島原半島ジオパーク事務局
2	B	亀 谷 悦 生	山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局 主査
3	C	中 山 友 美	山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局 企画課長
4	D	岡 田 栄 実	鳥取市鳥取砂丘・ジオパーク推進室 主幹
5	E	畑 山 良 雅	湯沢市ジオパーク推進室 主事
6	F	小 松 一 紀	西予市役所ジオパーク推進室 主事
7	A	山 下 元 幸	霧島市霧島ジオパーク推進課 課長
8	B	坂 之 上 浩 幸	北海道地図(株) ジオパーク推進室
9	C	周 藤 利 通	北海道地図(株) ジオパーク推進室
10	D	小 林 毅 一	秩父市役所産業観光部 観光課
11	E	宮 城 敏 成	小鹿野町役場 産業観光課
12	F	出 浦 泰 寛	隠岐ジオパーク推進協議会 総務課長
13	A	野 辺 正 礼	隠岐ジオパーク推進協議会 研究員
14	B	平 田 一 寛	神奈川県西地域県政総合センター企画調整課 主事
15	C	清 水 潮 音	真鶴町危機管理課 主任主事
16	D	多 田 英 高	伊那市企画情報課 主任
17	E	小 池 温 一	三笠市立博物館 主任研究員
18	F	栗 原 憲 一	三陸ジオパーク推進協議会 ジオパーク推進員
19	A	斎 宏 行 彦	下仁田町教育委員会ジオパーク推進室 主事
20	B	関 谷 友 彦	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長
21	C	工 藤 英 美	八峰白神ジオパーク推進協議会 事務局
22	D	板 垣 恭 彦	あきた白神体験センター 営業
23	E	石 松 昭 信	阿蘇ジオパーク 事務局
24	F	徳 永 美 紀	阿蘇ジオパーク 事務局
25	A	吉 川 博 輔	勝山市ジオパーク推進室 アドバイザー
26	B	畑 中 健 徳	勝山市ジオパーク推進室 室長
27	C	渡 部 健 徳	男鹿市観光商工課 主任
28	D	薄 井 伯 征	大湯村総務企画課 主査
29	E	二 木 茂 希	秋田県秋田地域振興局地域企画課 主査
30	F	永 富 真 司	美祢市ジオパーク推進協議会
31	A	丸 山 茂 雄	糸魚川市青海事務所振興係 主査
32	B	井 伊 徹 美	糸魚川市交流観光課ジオパーク推進室 主任主事
33	C	加 藤 聡 美	アボイ岳ジオパーク推進協議会事務局
34	D	杉 本 健 治	室戸ジオパーク推進協議会 事務局員
35	E	柴 田 伊 廣	室戸ジオパーク推進協議会
36	F	唐 仁 史 之	鹿児島市政策企画課 主査
37	A	石 宮 聡 良	鹿児島市政策企画課 主査
38	B	島 田 一 良	御所浦アイランドツーリズム推進協議会
39	C	鶴 飼 宏 明	天草市商工観光課ジオパーク推進係
40	D	平 安 山 良 信	本部半島ジオパーク推進協議会 事務局
41	E	安 田 理 恵	白山手取川ジオパーク推進協議会
42	F	大 西 潤 三	しかおいジオパーク推進協議会 事務局
43	A	小 澤 三 四 郎	佐渡ジオパーク推進協議会
44	B	神 蔵 勝 明	佐渡市教育委員会社会教育課ジオパーク推進室推進指導員
45	C	丹 穂 亮 太	佐渡市教育委員会社会教育課ジオパーク推進室 主事
46	D	佐 藤 広 也	栗原市産業経済部田園観光課 観光企画主事
47	E	佐 藤 英 和	栗原市産業経済部田園観光課観光企画係 主査
48	F	中 村 希 維	銚子ジオパーク推進協議会事務局 書記
49	A	齋 藤 彩 香	銚子ジオパーク推進協議会事務局 書記
50	B	竹 谷 陽 二 郎	福島県立博物館
51	C	佐 藤 公 一	磐梯山噴火記念館副館長
52	D	安 部 庄 英	猪苗代町商工観光課 主任
53	E	五 十 嵐 卓 喬	磐梯町商工観光課 主査
54	F	佐 藤 喬 春	北塩原村商工観光課
55	A	石 井 千 春	伊豆半島ジオパーク推進協議会 事務局
56	B	鬼 多 見 浩	(財)野口英世記念会 事業課主任

1	アドバイザー	中 田 節 也	日本ジオパーク委員会委員
2	アドバイザー	渡 辺 真 人	日本ジオパーク委員会事務局
3	JGN 事務局	斉 藤 清 一	日本ジオパークネットワーク 事務局長
4	JGN 事務局	杉 本 伸 一	日本ジオパークネットワーク 事務局員
5	JGN 事務局	田 上 順 一	日本ジオパークネットワーク 事務局員
6	開催地	佐 藤 康 一	北塩原村商工観光課 班長
7	開催地	蓮 岡 真 彰	磐梯山ジオパーク協議会 事務局
8	開催地	戸 野 部 彰	磐梯山ジオパーク協議会 事務局
9	開催地	鈴 木 実 保	磐梯山ジオパーク協議会 事務局

概要報告

平成 25 年 2 月 14 日 (木) 9 : 00 開催

JGN 挨拶 齊藤 清一 (JGN 事務局長)
開催地挨拶 小椋 敏一 (北塩原村長, 磐梯山ジオパーク協議会会長)
アドバイザー挨拶 中田 節也 (JGC 委員, 東京大学教授)

話題提供 (講演) 「世界のジオパーク解説板」
杉本 伸一 (JGN 事務局)

質 疑 (主なもの)

- Q 看板の内容を紙媒体にしたもの、HP 上に掲載したものはあるか？
- A 現状では対応していない。今後の検討事項と思う
- Q 景観条例上の関係もあり「デジタルサイレージ」を導入し始めているが、海外ではどうか？
- A 香港にはあった。現状では、すべての人が使いこなせていない。
新しい媒体として展開していく可能性は高いのでは。

話題提供 (講演) 「サイン (解説板) における地図デザインについて」
小林 毅一 (北海道地図 (株) ジオパーク推進室)

質 疑 (主なもの)

- Q スマートフォンなどハンディ機器対応の地図、案内表示など出始めていると聞くが？
- A 北海道地図のアプリで提供している。詳細も案内できるのでたずねてほしい。
- Q 外国人はひらがなならかなり判読できる人もいると聞くが、地名や語句は日本人、小人にも読めるようふりがな表示を徹底していくのが必要と考える。(意見として)

休 憩

ワークショップ (会場移動)

(1) 各地域の解説板研修

昼 食 磐梯青少年交流の家食堂 : バイキングの昼食
(お代わり自由、ドリンクバー付きです)

(2) 解説版制作 (磐梯山 GP のジオサイト : 「見祢の大石」) の資料解説

1 「磐梯山ジオパークの特徴」 竹谷 陽二郎 (福島県立博物館主任学芸員)

2 「磐梯山バーチャルジオツアー (見祢の大石)」 佐藤 公 (磐梯山噴火記念館副館長)

(3) グループディスカッション (解説版づくり) : A-F 班

(4) プレゼンテーション (パワーポイントによる解説板の説明) : A-F 班

(5) 講評、総括

休 憩

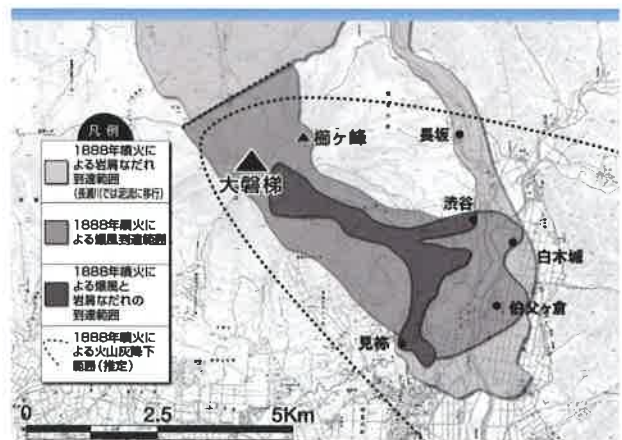
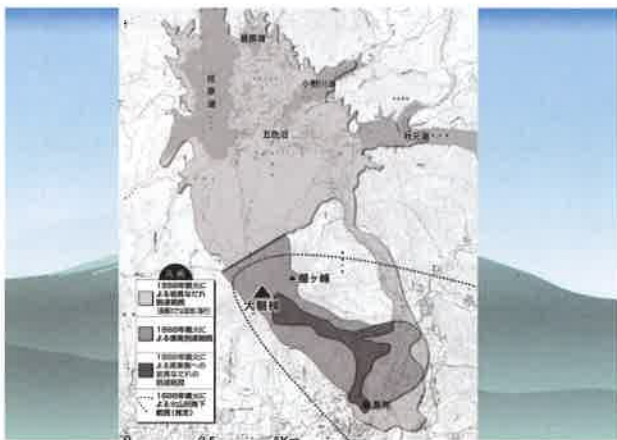
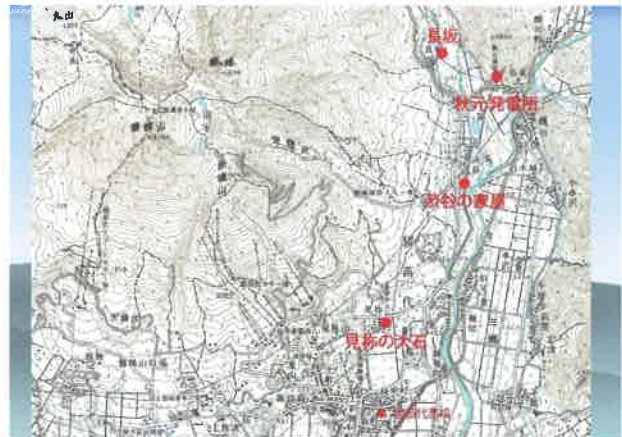
JGN 活動における意見交換

i 事務局より来年度のスケジュール報告

ii アドバイザーを交えての意見交換

「本音トーク」として意見の交換を行う





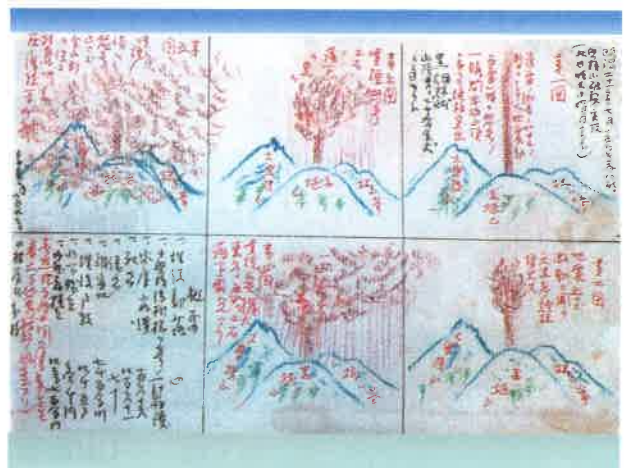




案内した人がいる

- ◆ 見杉は猪苗代町から一番近い災害の現場
- ◆ 家の東側 → 骨組みだけ残る
- ◆ 家の西側 → 壊れていない

この家は災害の象徴と
考えた人がいる
→ 小林栄 (野口英世の恩師)



岩手県 大槌(おおつち)町



災害遺構 さいがいのこ



これで
バーチャルジオツアーを
終了します。
ご参加いただき
ありがとうございました
。

「この石はどこから来たの？」

みね おおいし

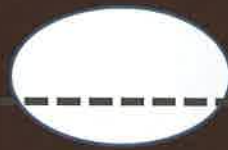
見祢の大石 (国の天然記念物)

この大石は1888年(明治21年)年の噴火の際、火口付近にあった岩が、岩なだれによって運ばれてきたものです。ここから火口までは、約5kmあり、岩なだれの凄まじさを物語っています。

英語説明文



当時の様子



幅6.1m×長さ9.4m×高さ3m
重さは何Kgかな？

全体マップ

山体崩壊イラスト

問い合わせ



A 班

発表者：齋 宏 行 (三陸地域)

林 田 真 明 (島原)
山 下 元 紀 (西予地域)
野 辺 一 寛 (隠岐)
徳 永 美 紀 (阿蘇)
永 富 真 司 (美祢地域)
唐人原 史 之 (桜島・錦江湾地域)
大 西 潤 (しかおい地域)
中 村 希 維 (銚子)
佐 藤 喬 (磐梯山)



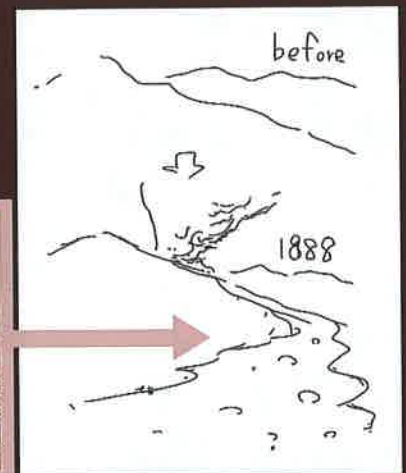
ばん たい さん
磐梯山のかけら
— 見祢の大石 —

見祢の大石ってなあに？

1888年に起きた爆発で磐梯山の山の一部分が大きく崩れ、発生した岩なだれはこのあたりまで流れました。この岩なだれによって運ばれてきたのがこの見祢の大石です。

1888年の岩なだれ

岩なだれは5kmの距離を時速60kmでかけ下り、多くの家屋を破壊しました。右の写真の家屋では、岩なだれに巻き込まれた家の半分だけが崩れています。



今も動いている石

重さ〇〇トンのこの石は、今も石自身の重みで沈み続けています。右の写真は、石がこの場所に来たときのもので、今の形と見比べてみよう。



B 班

発表者：平 田 正 礼 (隠岐)

- 亀 谷 悦 生 (山陰海岸)
- 坂之上 浩 幸 (霧島)
- 関 谷 友 彦 (下仁田)
- 吉 川 博 輔 (恐竜渓谷ふくい勝山)
- 丸 山 茂 雄 (糸魚川)
- 石 宮 聡 (桜島・錦江湾)
- 小 澤 三四郎 (佐渡地域)
- 齋 藤 彩 香 (銚子)
- 石 井 千 春 (伊豆半島)

「見祢の大石」はなんでこんなところにあるの？

「手なが足なが」のイラスト



「岩なだれ」によって運ばれた「見祢の大石」

「岩なだれ」って何？なぜ起こったの？

「岩なだれ」とは、山が崩れて大きな岩が運ばれたものです。

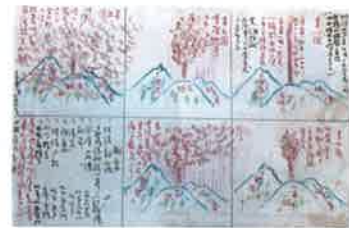
1888(明治21)年7月15日に、磐梯山が噴火により起こりました。

「見祢の大石」は5kmほど離れた磐梯山の山頂付近から来ました。



「見祢の大石」が運ばれたでは、どうやってここまで来たのでしょうか？ ルート

「岩なだれ」により運ばれてきました。



噴火の様子を描いた、野口英世の恩師、小林栄のスケッチ

C 班

発表者：中山友美 (山陰海岸)

周藤利通 (北海道地図)

清水潮音 (箱根)

工藤英美 (八峰白神)

畑中健徳 (恐竜溪谷ふくい勝山)

井伊徹 (糸魚川)

島田一良 (天草・御所浦)

神蔵勝明 (佐渡地域)

竹谷陽二郎 (磐梯山)

鬼多見浩 (磐梯山)

山から来た大石



磐梯山ジオパーク

明治噴火で小磐梯が崩れ、ここまで流れ出た大石を「見衾の大石」とよんでいます。

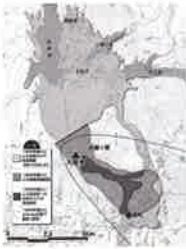
山から出てきた大石



「見衾の大石」は岩田善平によって、写真撮影、国の天然記念物に指定されています。現在は自重のため、3分の1ほどが沈んでしまいました。同じような大きな岩は、上流部にいくつか残されています。

ここで何が起きたの

磐梯山は1888(明治21)年7月15日に噴火し、岩なだれとなり一部は猪苗代町の見衾集落へも到達しました。この見衾集落は火山災害の現場でした。



世間の注目と描かれた災害



ここには東京から多くの方が被害の様子を見に来ています。半分壊れた民家を多くの方が、写真やスケッチで残しています。案内者は野口英世の恩師である小林栄です。災害の象徴と考えて民家を案内したのではないのでしょうか。



磐梯山全体地図

D 班

発表者：加 藤 聡 美 (アポイ岳)

- 岡 田 実 (山陰海岸)
- 小 林 毅 一 (北海道地図)
- 多 田 英 高 (箱根)
- 神 垣 恭 彦 (八峰白神)
- 渡 部 健 (男鹿半島・大湊)
- 鶉 飼 宏 明 (天草・御所浦)
- 丹 穂 亮 太 (佐渡地域)
- 佐 藤 公 (磐梯山)

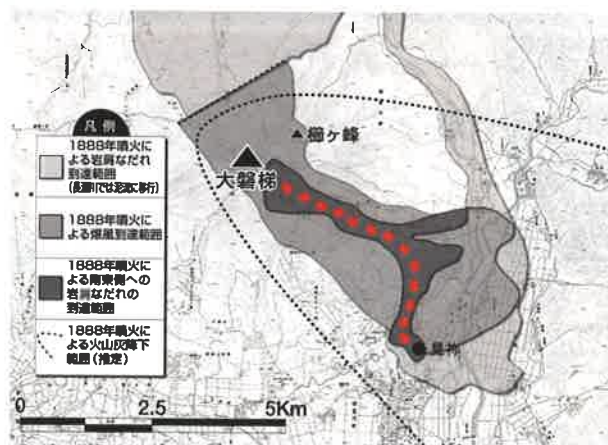
大きな石 なんでココに! ?

53 見祢の大石 みね Big Rock of MINE

この石は、1888年7月15日の磐梯山の大噴火により発生した岩なだれにより、ここまで運ばれました。

岩なだれの速さは時速 80 kmと推定され、見祢地区も大きな被害が発生しました。当時の噴火の規模の大きさがよくわかりますね。

This rock was moved by
We can understand



1888年の噴火による災害の範囲
Natural disaster area.



噴火直後の見祢の大石。現在は個人所有となり、天然記念物に指定されています。

This Photo was.....

磐梯山ジオパーク
エリア地図と
見祢の大石の位置

磐梯山ジオパーク協議会 TEL. 0241-32-2927
<http://bandaisan-geo.com/>

QR
ロゴ

E 班

発表者：板谷大樹（八峰白神）

- 畑山良栄（ゆざわ）
- 宮城敏（秩父）
- 小池温（南アルプス）
- 薄井伯征（男鹿半島・大潟）
- 杉本健治（室戸）
- 平安山良信（本部半島地域）
- 佐藤広也（栗駒山麓地域）
- 安部庄英（磐梯山）

この岩はどこから来たの？

見衾の大岩サイト
磐梯山ジオパーク



400 トンの岩があこの山の頂上から、ここに流れて来た



見衾の大石は、昔からこの場所にあったわけではありません。ここから見える磐梯山の噴火によって、5 km 先の山頂から時速 80km のスピードで流れてきました。磐梯山は 1888 年 7 月 15 日の噴火によって山が崩れ、“岩なだれ”がここ（見衾集落）へも達しました。この噴火により、家屋の崩壊 166 棟、死者 461 名の甚大な被害がもたらされました。同じような大きな岩は上流部にいくつか残されています。（国指定の天然記念物）



噴火直後の見衾の大石（1888 年）



被災した家屋（スケッチ）



小林栄さんは、磐梯山の噴火災害の様子を多くの人に伝えた方で、野口英世の恩師。

磐梯山は生きている山です。いつ噴火が起こってもおかしくありません。しかも毎回噴火の規模も“岩なだれ”が起こる場所も違います。二度と過去の被害を繰り返さないように、噴火が始まったら速やかに避難しましょう。

チーム F 推進協議会

チーム F

発表者：佐藤英和（栗駒山麓地域）

- 小松 雅（ゆざわ）
- 栗原 憲一（三笠地域）
- 石松 昭信（阿蘇）
- 二木 茂希（男鹿半島・大瀧）
- 柴田 伊廣（室戸）
- 安田 理恵（白山手取川）
- 五十嵐 卓（磐梯山）



プレ情報交換会（乾杯の挨拶）



プレ情報交換会（「華」の3人組）



研修会（アドバイザー挨拶）



研修会（いよいよ開催です）



研修会（事例講演）



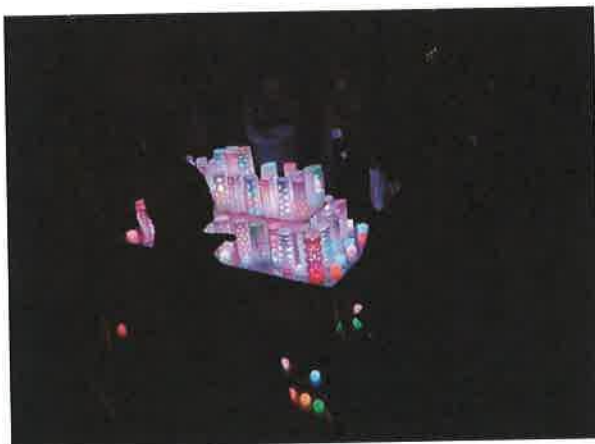
研修会（既設案内板について研修）



研修会 (ワークショップ)



研修会(プレゼンテーション)



ジオ端会議(オープニング:歓迎のあかり)



ジオ端会議(嬉しそうです)



ジオツアー(森の恵み)



ジオツアー(冬の五色沼)



ジオツアー（猪苗代湖を見下ろして）



ジオツアー(明治の洋館:天鏡閣)



ジオツアー(伝統のかんじきを履いて)



ジオツアー(猪苗代湖のしぶき氷の前)



オプションジオツアー
(裏磐梯スキー場の上)



オプションジオツアー(銅沼集合)

ジオパーク
魅力を探る
猪苗代で研修会
ジオパークの魅力発

各地に設置されている
看板の内容などを見て
回る参加者



信などについて意見を
交換する「ジオパーク
全国研修会」は十四、
十五の両日、猪苗代町
の国立磐梯青少年交流

の家で開かれている。
日本ジオパークネッ
トワーク、磐梯山ジオ
パーク協議会の主催。
国内のジオパーク認定
地域などから約五十人
が参加した。参加者は
ジオパークの見どころ
などを観光客らに紹介
する解説板について理
解を深めた。
十五日は北塩原村の
五色沼や猪苗代町の猪
苗代湖など磐梯山ジオ
パークの四方所を巡る
予定。

ジオサイト解説板
デザインなど検討

猪苗代で全国研修会

日本ジオパークネットワ
ークと磐梯山ジオパーク協
議会が主催する第2回JG
N全国研修会は14日、猪苗
代町で始まった。15日まで。
日本ジオパーク21地域、
ジオパーク構想を持つ9地
域の担当者ら約70人が参
加。ジオパークの見どころ
となる「ジオサイト」など
を紹介する解説板の在り方
やデザインなどについて検
討している。

初日はJGN事務局の杉
本伸一さんが解説板につい
て説明。「教育するためで
なく、レジャー、観光客向
けにすべきだ」などと分か



解説板について検討している研修会

りやすさの必要性を訴え
た。このほか、各地域から
持ち寄った解説板を比較し
ながら在り方を検討した。
15日は磐梯山ジオパーク
を4コースに分けて視察す
る。

